



# CobraNet™ インターフェース アップデートガイド

このアップデートガイドでは、ヤマハ CobraNet 機器 (ACU16-C、NHB32-C、MY16-C、MY16-CII、DME8i-C、DME8o-C、DME4io-C) の CobraNet インターフェースのファームウェアをアップデートする手順を説明します。

## 目次

1. アップデートの準備 .....	2
1.1. 必要なシステム構成 .....	2
1.2. 接続 .....	3
1.3. CobraNet Discoveryのインストールと初期設定 .....	4
1.4. IPアドレスの手動設定 (自動設定できない場合のみ) .....	7
2. アップデート手順 .....	9
2.1. 現在のバージョンの確認 .....	9
2.2. 新しいバージョンの書き込み .....	9

## ご注意

- このアップデートガイドの著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- このアップデートガイドの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- このアップデートガイドを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、最終仕様と異なる場合がありますのでご了承ください。
- バージョンアップなどに伴うファームウェアおよび一部の機能や仕様の変更については、ヤマハのウェブサイト (<http://proaudio.yamaha.co.jp/>) で対応させていただきます。
- 「CobraNet」および「CobraNet Discovery」は、Cirrus Logic社の登録商標です。
- 記載の社名および製品名は、各社の商標および登録商標です。
- 仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

# 1. アップデートの準備

## 1.1. 必要なシステム構成

CobraNet インターフェースをアップデートするには、以下のハードウェアおよびソフトウェアが必要です。

### コンピューター

Windows NT 4.0/2000/XP のいずれかが動作し、LAN 端子を持つコンピューター

### 接続ケーブル

アップデート用の接続に、以下のいずれかが必要になります。

- Ethernet カテゴリー5 クロスケーブル 1 本  
または
- Ethernet カテゴリー5 ストレートケーブル 2 本、およびスイッチングハブ

### アップデートする CobraNet 機器

ACU16-C、NHB32-C、MY16-C、MY16-CII、DME8i-C、DME8o-C、または DME4io-C

### CobraNet Discovery

CobraNet ネットワークをモニター/メンテナンスするための Cirrus Logic 社製のアプリケーションソフトです。ここでは、CobraNet インターフェースのファームウェアをアップデートするために使用します。

お持ちでない場合は、以下の URL からダウンロードしてください。

<http://www.cirrus.com/dispatch/forms/sup/boardreg/breg/BregController.jpf>

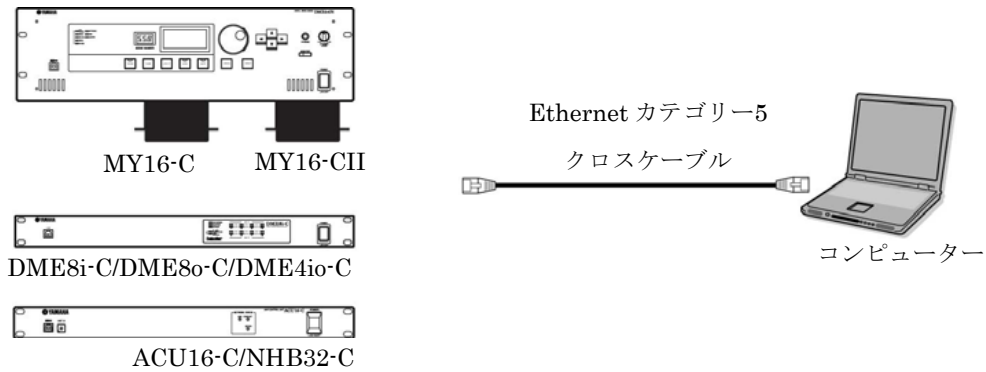
### CobraNet インターフェースのファームウェア

ヤマハのウェブサイトからアップデートする機器に対応した圧縮ファイルをダウンロードして、解凍しておいてください。

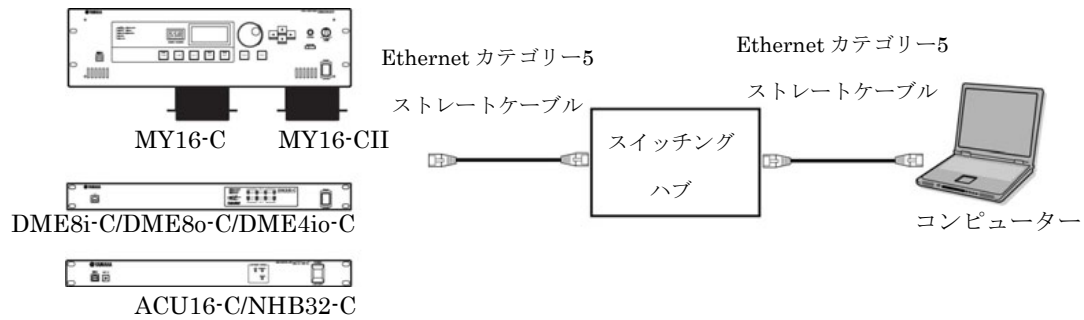
**注意!** ファームウェアはアップデートする機器によって異なります。また、ヤマハ以外から提供されるファームウェアにはアップデートしないでください。異なる機器のファームウェアやヤマハ以外から提供されるファームウェアにアップデートすると、動作が不安定になる場合があります。

## 1.2. 接続

クロスケーブルを使用する場合は、コンピューターの LAN 端子と機器の CobraNet 端子 (PRIMARY 端子または SECONDARY 端子)を以下のように直接接続します。



ストレートケーブルを使用する場合は、スイッチングハブを経由して、コンピューターLAN 端子 (PRIMARY 端子または SECONDARY 端子)と機器の CobraNet 端子を接続します。



### 1.3. CobraNet Discovery のインストールと初期設定

以下の手順にしたがって、CobraNet Discovery のインストールおよび初期設定を行なってください。

1. Cirrus Logic 社のウェブサイトから CobraNet Discovery のインストーラーをダウンロードして、インストールします。

<http://www.cirrus.com/dispatch/forms/sup/boardreg/breg/BregController.ipf>

2. アップデートするファームウェアを以下のフォルダーにコピーします。

C:\Program Files\Cirrus Logic\CobraNet Discovery\firmware

CobraNet Discovery のインストール先を初期設定から変更した場合は、フォルダー名が異なります。

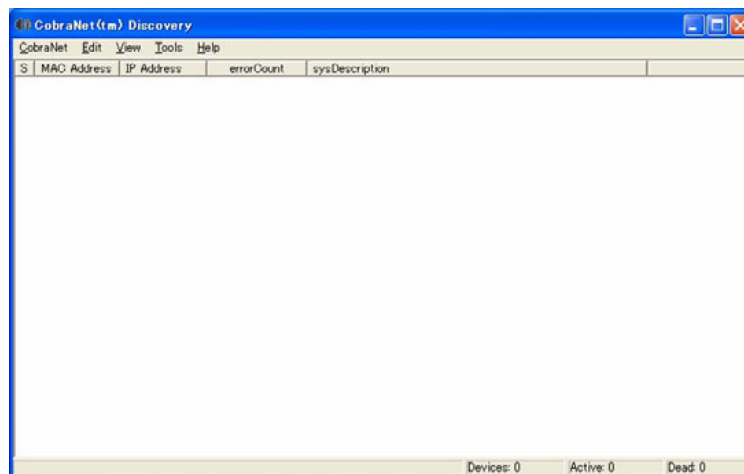
ファームウェアのファイル名は、機器ごとに異なります。

機器名	ファームウェアのファイル名
ACU16-C / NHB32-C	acu16_x_x_x.bin
MY16-C	my16c_x_x_x.bin
MY16-CII	YAMAHA-MY16CII_x_x_x.bin
DME8i-C/DME8o-C/DME4io-C	YAMAHA-SATELLITE_x_x_x.bin

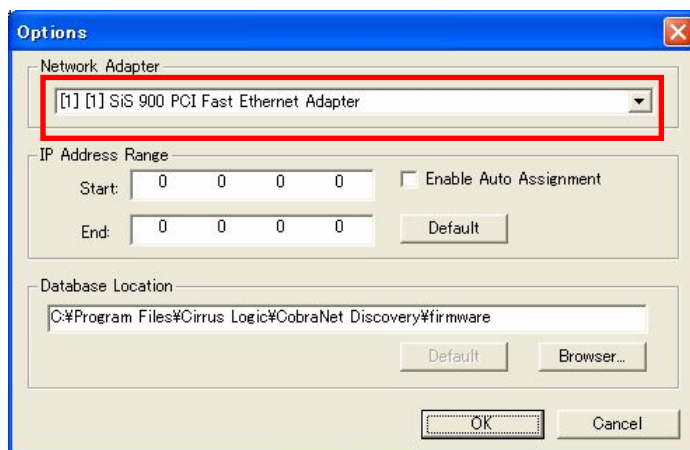
\* 「x\_x\_x」には、バージョン番号が入ります。

**注意!**異なる機器のファームウェアやヤマハ以外から提供されるファームウェアにはアップデートしないでください。動作が不安定になる場合があります。

3. 「スタート」メニューから「すべてのプログラム」→「CobraNet Discovery」→「CobraNet Discovery」の順に選択して、CobraNet Discovery を起動します。

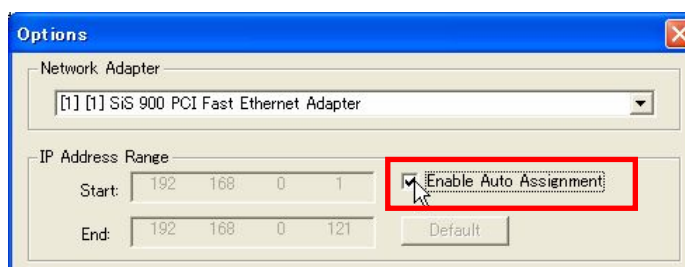
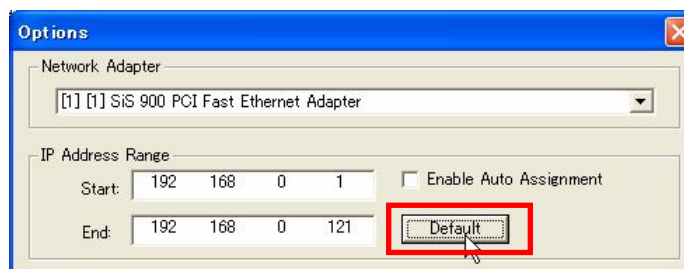


4. [View]メニュー→[Options]を選択して「Options」ダイアログを表示し、「Network Adaptor」欄でアップデートしたい機器との接続に使用しているネットワークアダプターを選択します。



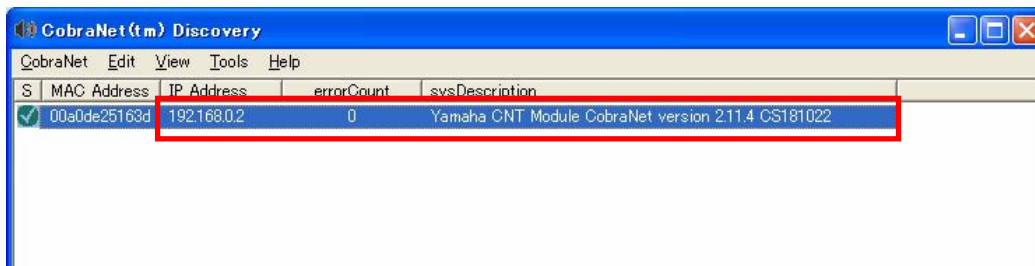
5. 機器の IP アドレスを自動で割り振るために、「IP Address Range」欄で[Default]ボタンをクリックし、続いて[Enable Auto Assignment]にチェックを入れます。

機器の IP アドレスは、自動で割り振ることをおすすめします。ただし、自動で割り振りできない場合は、手動で設定することもできます(7 ページ参照)。



6. [OK]をクリックして、ダイアログを閉じます。
7. アップデートしたい機器を接続した状態で、機器の電源を入れます。

8. 機器の IP アドレスが自動で割り振られると、メイン画面の「IP Address」欄には以下のように IP アドレスが表示され、「errorCount」欄と「sysDescription」欄には数字とファームウェア名/バージョン番号が表示されます。

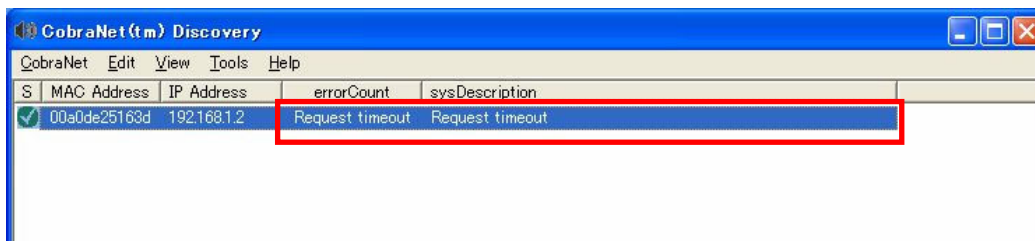


The screenshot shows the CobraNet(tm) Discovery application window. The table below is a representation of the data shown in the application's main display area.

S	MAC Address	IP Address	errorCount	sysDescription
✓	00a0de25163d	192.168.0.2	0	Yamaha CNT Module CobraNet version 2.11.4 CS181022

何も表示されない場合は、機器の検出に失敗しているため、ケーブルの接続やネットワークアダプターの設定を確認してください。

以下のように、「errorCount」欄と「sysDescription」欄に「Request timeout」と表示される場合は、IP アドレスが正しく割り振られていません。「1.4. IP アドレスの手動設定(自動設定できない場合のみ)」(7 ページ)の手順にしたがって、IP アドレスを手動で割り振ってください。



The screenshot shows the CobraNet(tm) Discovery application window. The table below is a representation of the data shown in the application's main display area.

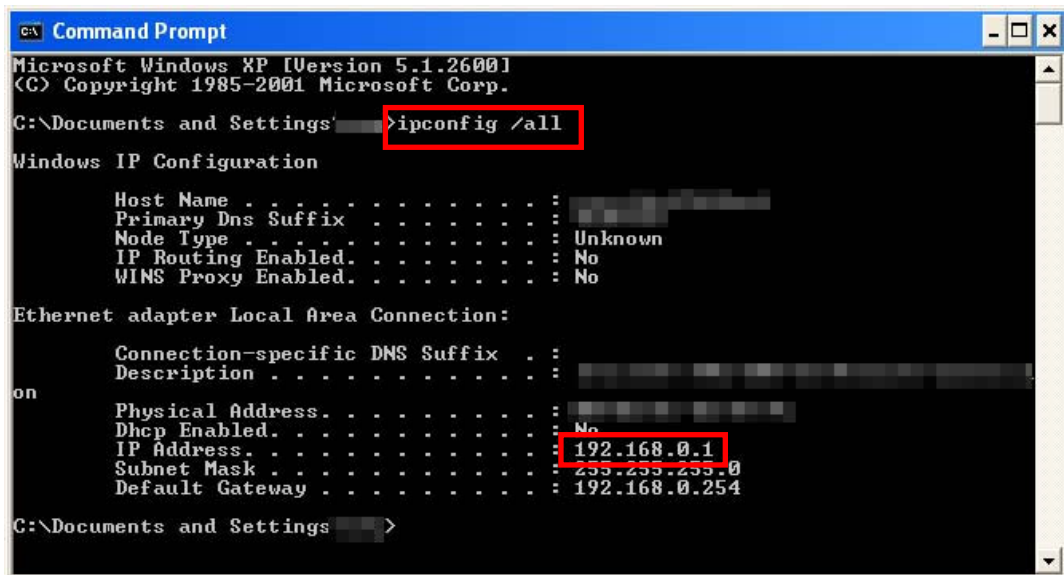
S	MAC Address	IP Address	errorCount	sysDescription
✓	00a0de25163d	192.168.1.2	Request timeout	Request timeout

IP アドレスが正しく設定できた場合は、準備完了です。「2. アップデート手順」(9 ページ)に進んでください。

## 1.4. IP アドレスの手動設定 (自動設定できない場合のみ)

機器の IP アドレスが自動で正しく割り振られない場合のみ、以下の手順にしたがって IP アドレスを手動で設定してください。

1. コンピューターの IP アドレスを確認するために、「スタート」メニューから「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」を選択して、コマンドプロンプトを開きます。
2. コマンドプロンプトで、「ipconfig /all」と入力すると、以下のような表示になります。「IP address」と表示されているのがこのコンピューターの IP アドレスです。以下の例では、「192.168.0.1」がコンピューターの IP アドレスです。



```
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:\Documents and Settings\>ipconfig /all

Windows IP Configuration

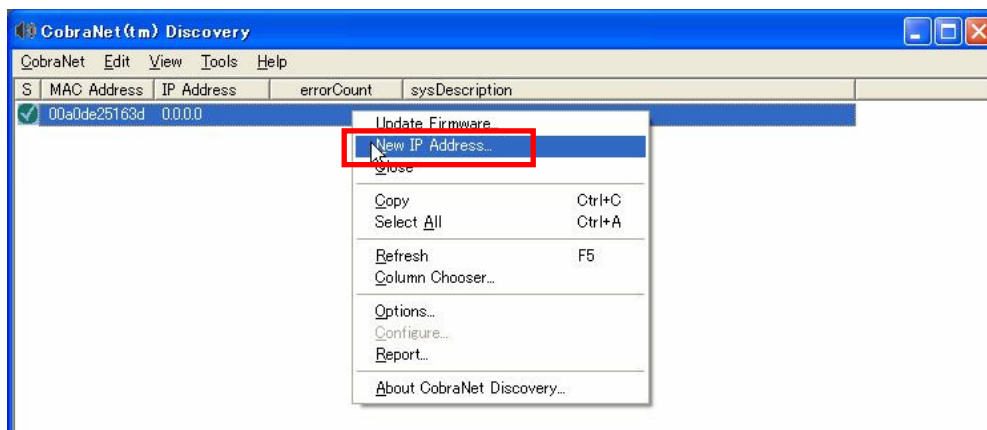
Host Name . . . . . : 
Primary Dns Suffix . . . . . : 
Node Type . . . . . : Unknown
IP Routing Enabled. . . . . : No
WINS Proxy Enabled. . . . . : No

Ethernet adapter Local Area Connection:

Connection-specific DNS Suffix . . . : 
Description . . . . . : 
Physical Address. . . . . : 
Dhcp Enabled. . . . . : No
IP Address. . . . . : 192.168.0.1
Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0
Default Gateway . . . . . : 192.168.0.254

C:\Documents and Settings\>
```

3. CobraNet Discovery のメイン画面で、アップデートしたい機器を右クリックすると表示されるポップアップメニューから「New IP Address」を選択します。



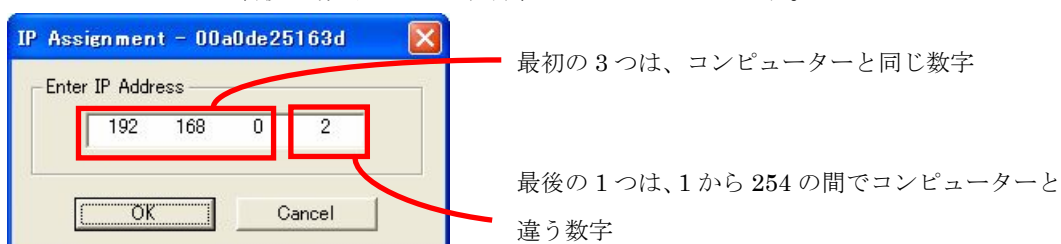
4. IP アドレスを設定するためのダイアログが表示されます。



5. 以下のように IP アドレスを入力します。

最初の 3 つの数字は、コンピューターの IP アドレスと同じものを入力します。コンピューターの IP アドレスが「192.168.0.1」の場合、最初の 3 つの数字は「192.168.0」と入力します。

4 番目の数字は、1 から 254 の間でコンピューターの IP アドレスとは違う数字を入力します。コンピューターの IP アドレスの最後の数字が 1 の場合、2 などを入力します。



6. [OK]をクリックして、ダイアログを閉じます。

このとき、以下のような警告メッセージが表示されることがありますが、[OK]をクリックして閉じてください。



以上で準備は完了しました。



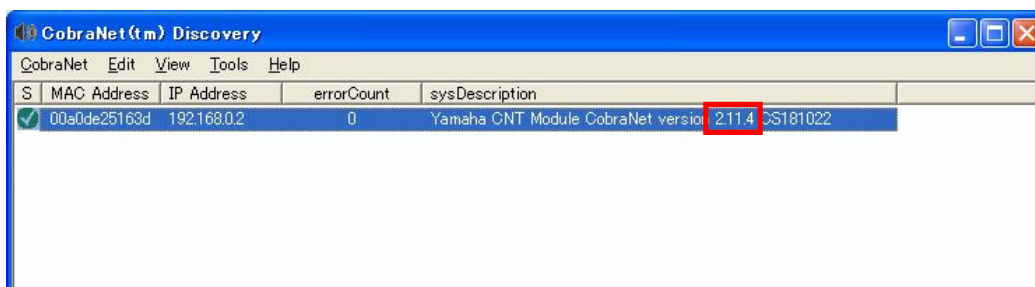
## 2. アップデート手順

### 2.1. 現在のバージョンの確認

コンピューターと機器を接続した状態で機器の電源を入れて、CobraNet Discovery を起動します。

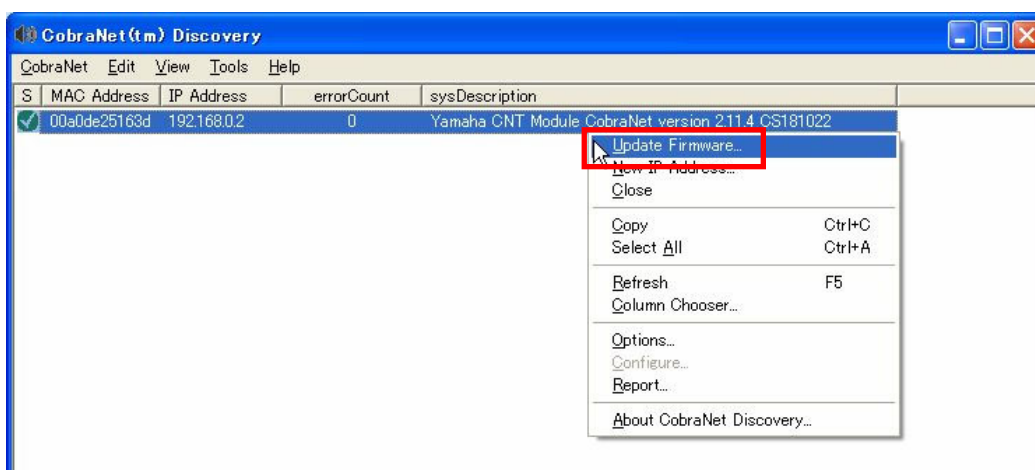
CobraNet Discovery のメイン画面の「sysDescription」欄に「Yamaha CNT Module CobraNet version 2.11.4 CS181022」のようにバージョン番号が表示されます。CobraNet version のすぐあとに表示されている数字がバージョン番号です。この数字がヤマハから提供している最新バージョンよりも古い場合は、アップデートが必要になります。

以下の例では、バージョン 2.11.4 です。ヤマハから提供している最新バージョンが 2.11.5 以上の場合は、アップデートが必要になります。



### 2.2. 新しいバージョンの書き込み

1. CobraNet Discovery のメイン画面で、アップデートしたい機器を右クリックすると表示されるポップアップメニューから「Update Firmware」を選択します。

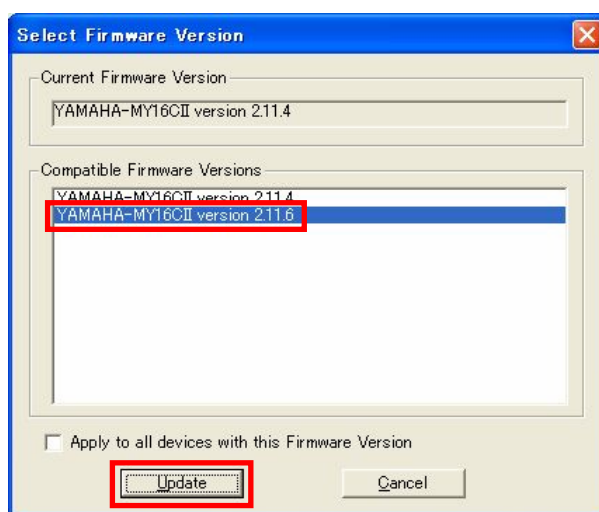


2. しばらく以下のようなプログレスバーが表示されたあと、「Select Firmware Version」ダイアログが表示されます。



3. 「Select Firmware Version」ダイアログの「Compatible Firmware Versions」欄でアップデートしたいファームウェアバージョンが選択されていることを確認します。

MY16-CII をアップデートしたい場合は、「YAMAHA-MY16CII version x.x.x」(x.x.x はバージョン番号で、以下の例では 2.11.6)が選択されていることを確認します。



4. [Update]をクリックするとアップデートが開始され、以下のようなプログレスバーが表示されます。

注意!: このプログレスバーが表示されている間は、絶対に電源を切らないでください。アップデート途中で電源が切れると、ファームウェアが破損して、機器の故障の原因になります。



5. 以下のポップアップが表示されたら、[OK]をクリックしてポップアップを閉じ、機器の電源を切ります。



6. 機器の電源を入れなおします。

以上でアップデートは完了しました。

U.R.G., Pro Audio & Digital Musical Instrument Division, Yamaha Corporation

© 2006 Yamaha Corporation

A0